

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調査

都道府県名	三重県	事業実施主体	津市	地域再生計画名	「山、川、海、人が共生する元気なまち津」清流再生計画
計画期間	平成22～26年度	評価責任者	下水道局長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	污水処理施設の整備促進（污水処理人口普及率の増）	76.7%	H22				83.4%	H26	81.9%	△	生活排水処理基本計画に基づくスケジュールにて整備を行ったが、人口減少などの要因もあり、最終目標値まで到達することが出来なかった。平成27年度は、市営浄化槽事業の実施や、生活排水処理アクションプログラムの見直しを行うこととし、更なる普及率の増加に努める。
	指標2	環境フェアの参加人数	4,500人	H22				5,000人	H26	5,500人	○	平成22年度から平成26年度までは、津市モーターボート競走場を開催場所として環境フェアを行ったところ、周知努力等もあり、目標を達成することが出来た。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	河川の水質の浄化（BODの平均値を基準値以下で安定、維持させる）	1.9	H22	20.0	H22～24平均	1.83	20.0	H23～26平均	1.78	○	数値については、天候に左右されるところが大いだが、1年間のBODの平均値を公共用水域の河川の基準値以下を維持出来た。
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度(H)	最終実績							
	公共下水道事業		52,860		41,301	污水処理施設整備交付金事業に関しては、東日本大震災以降においては工事に係る費用の高騰などもあり、平成23年度以降には当初の見込みより整備量が減少傾向であったため、目標値を下回るようになった。						
	浄化槽設置整備事業		1,780		1,648	公共下水道等の整備区域を除く津市の全域において、人口減少や空き家の増加という社会状況の変化がある中、当初の目標であった整備量1,780基に満たなかったものの、9割以上の整備量を達成出来た。						
その他の事業	環境学習等の推進事業		市民との協働			香良洲海岸清掃活動&地引網体験やエコウォーク、雲出川フォーラムなどを開催し、山から海までの各地域間交流をはじめとしたネットワークの構築を進めた。また、市民の環境活動の拠点である市民エコ活動センターを市民が自発的に環境について「知る」「考える」「行動する」環境啓発や情報発信と交流の場とするともに、維持管理を円滑に行うことが出来た。						
	美しいまちづくりの推進		市民清掃デーの実施			生活環境の保全と併せて、まちを美しくする市民意識の向上を図るため、市民清掃デーを実施し、道路・公園等の一斉清掃活動を行い、美しいまちづくりを推進している。						
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	計画期間終了後、最終実績及び推移を基に事業の評価を実施した。											
⑤事後評価の公表方法	市のホームページへ掲載											
⑥計画全体の総合評価	公共下水道、浄化槽の污水処理施設の整備を進め、環境フェアなどの開催により生活排水対策に係る様々な環境教育によって、市民の方々へ関心を持っていただくことにより、自主的・自立的で持続可能な地域形成が図られ、生活環境の改善につなげることが出来たと考えられる。											
⑦今後の方針等	新たな地域再生計画は作成せず、地域再生基盤強化交付金以外の国庫補助金等（社会資本整備総合交付金）を活用して整備を行うこととした。また、市営浄化槽事業の取組、下水道への接続に係る普及啓発にも力を入れていく。											